

製品名: ACOT1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06513**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	46kDa

抗原情報

遺伝子名	ACOT1
別名	ACOT1; CTE1; Acyl-coenzyme A thioesterase 1; Acyl-CoA thioesterase 1; CTE-I; CTE-Ib; Inducible cytosolic acyl-coenzyme A thioester hydrolase; Long chain acyl-CoA thioester hydrolase; Long chain acyl-CoA hydrolase
遺伝子 ID	641371.0
SwissProt ID	Q86TX2
免疫原	抗血清はヒト ACOT1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 91-140

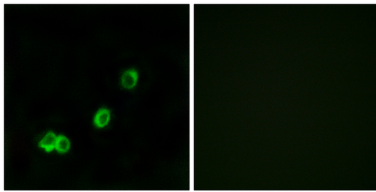
背景

触媒活性: パルミトイル CoA + H(2)O = CoA + パルミチン酸、機能: アシル CoA チオエステラーゼは、アシル CoA を遊離脂肪酸と補酵素 A (CoASH) に加水分解する反応を触媒する酵素群であり、アシル CoA、遊離脂肪酸、および CoASH の細胞内レベルを調節する可能性を持っています。脂肪酸アシル CoA (C12~C16) に対して活性を示す。、類似性: C/M/P チオエステル加水分解酵素ファミリーに属する。、サブユニット: モノマー。、触媒活性: パルミトイル CoA + H(2)O = CoA + パルミチン酸。、機能: アシル CoA チオエステラーゼは、アシル CoA を遊離脂肪酸と補酵素 A (CoASH) に加水分解する酵素群であり、細胞内のアシル CoA、遊離脂肪酸、および CoASH のレベルを調節する可能性を有する。脂肪酸アシル CoA (C12~C16) に対して活性を示す。、類似性: C/M/P チオエステル加水分解酵素ファミリーに属する。、サブユニット: モノマー。、

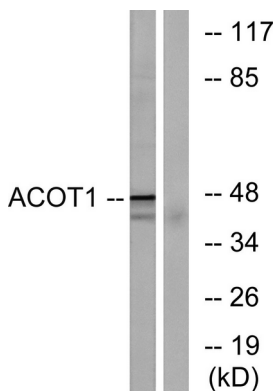
研究分野

不飽和脂肪酸の生合成

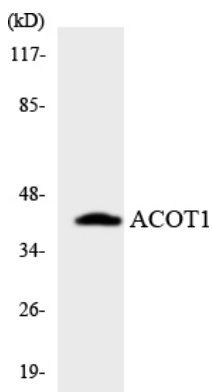
画像データ



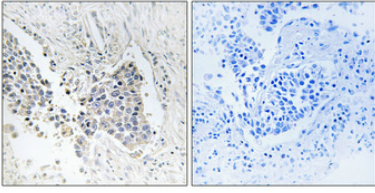
ACOT1 抗体を用いた MCF7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



ACOT1 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



ACOT1 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



パラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。